

単元名

阿品のすてき

【関連のある SDGs の目標】



【本質的な問い】（何度も問い直され答えが更新され続ける「問い」）

◎ふるさと地域の素敵って何だろうか？

【単元を貫く問い】（単元を通して考え深めていく「問い」）

●阿品のすてきなところって何だろうか？

【単元の目標】自分たちの住む阿品地域のすてきな場所を発見し、

それを保護者や地域の方に発信する活動を通して、地域に親しみを持ち地域に関わろうとする態度を育てる。

【連携諸機関・人物】

- ・市役所市経営企画部プロモーション戦略課
- ・阿品の森サポータークラブ
- ・国立研究開発法人水産研究教育機構水産時術研究所
- ・岩鏡神社飯田宮司
- ・岩鏡神社瀬土総代

活動の概要

地域を探索して、阿品の素敵だと思う場所や素敵だと思う人に出会う。

阿品の干潟を観察したり、西国街道縁の教え地蔵を見学したり、地元の岩鏡神社で神社の歴史を聞いたり、阿品の森で散策をしたり、被爆アオギリ2世の前で集会をしたりする。

その活動を通して学んだことを阿品のおすすめリーフレットにまとめる。そして、阿品のすてきな場所・すてきな人を学習発表会の場で、劇やダンス、呼びかけという形で表現する。

★アピールポイント★



＜干潟観察＞



＜阿品の森・被爆アオギリの前＞



＜岩鏡神社にて＞

・国立研究開発法人水産研究教育機構水産時術研究所の方から干潟観察の仕方を学び、阿品の干潟の生き物を実際に観察する活動を通して、地元の貴重な干潟を大切にしようとする気持ちを高めた。

・阿品の森サポータークラブの方から、阿品の森を守る活動の意義や森に入る時の心得などを話してもらい学習すると共に地域を支えている人々の存在を認識できるようにした。また、被爆アオギリ2世を植えられた地域の方の平和を思う気持ちに共感し、戦争の恐ろしさを知り平和を築いていこうとする児童の心情を育んだ。

・地元の岩鏡神社で宮司さんや総代さんから神社の歴史の話を聞き、祭神や神話に関して調べ学習をした。

・江戸時代からある教え地蔵・干潟の生き物・岩鏡神社の祭神に関する神話・阿品の森と被爆アオギリの物語をミュージカルという形で表現し保護者に発表した。

児童生徒の姿（○），児童生徒による振り返り（◇）

○体験学習や調べ学習をする中で、阿品の素敵なおところをもっと見つけたいと意欲を高めた。

◇岩鏡神社は、外にいても木陰があり暑い夏でも行けてすてきだと思った。

◇みんなのために、阿品の森をきれいにしている阿品の森サポーター倶楽部の方が素敵だと思う。実際にその場所に行ってみて阿品はいい町だなと思った。

◇干潟観察では、カニやアサリ、やどかりを見つけ、今度また家族と干潟に行き、知ったことを家族に話して、生き物を見つけない。